



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
コード番号 4680 URL <https://www.round1.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉野 公彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 2024年3月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	113,393	11.8	13,354	50.1	13,232	50.1	9,541	56.1
2023年3月期第3四半期	101,384	52.3	8,899	—	8,816	—	6,112	457.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 10,918百万円 (37.3%) 2023年3月期第3四半期 7,951百万円 (240.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	35.29	35.24
2023年3月期第3四半期	21.31	21.30

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	177,019	63,231	35.5	233.59
2023年3月期	170,623	61,180	35.7	217.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 62,915百万円 2023年3月期 60,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	4.00	—
2024年3月期	2.50	2.50	3.50	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	3.50	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、2023年3月期の年間配当金につきましては単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の2023年3月期の期末配当金は12円、年間配当金は24円、2024年3月期の年間配当予想は36円であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,584	10.9	22,878	35.2	22,635	35.6	14,004	43.8	52.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	287,436,942株	2023年3月期	287,358,642株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	18,092,646株	2023年3月期	6,902,126株
------------	-------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	270,341,940株	2023年3月期3Q	286,819,430株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や、賃上げの影響により個人消費を中心に緩やかな回復基調が見られました。

他方、世界経済においては、プラス成長を維持しているものの減速傾向にあり、依然として世界情勢等の影響を注視する必要がある状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは日本において、引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次行ったほか、アーティストやアニメ等との期間限定コラボキャンペーンやテレビコマーシャルの全国放送を実施し、業績向上に努めました。また、昨今の経済状況を勘案しボウリング・スポッチャにて料金の見直しを実施しております。

米国においては、営業基盤を拡大すべく、新たに2023年12月にアローヘッド店(アリゾナ州)をオープンいたしました。その他、引き続き「Mega Crane Zone」への改装をはじめとしたアミューズメント機器の積極的な導入を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高113,393百万円(前年同四半期比11.8%増)、営業利益13,354百万円(前年同四半期比50.1%増)、経常利益13,232百万円(前年同四半期比50.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9,541百万円(前年同四半期比56.1%増)となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

引き続き一部店舗の「ギガクレーンゲームスタジアム」への改装を順次行ったほか、アーティストやアニメ等との期間限定コラボキャンペーンやテレビコマーシャルの全国放送を実施し、業績向上に努めました。また、カラオケにおきましてはJOYSOUNDの新機種となる「JOYSOUND X1」を導入し、ボウリング・スポッチャにおきましては昨今の経済状況を勘案し料金の見直しを実施しております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比10.8%増、アミューズメントは前年同6.4%増、カラオケは前年同19.2%増、スポッチャは前年同18.8%増となりました。

(米国)

営業基盤を拡大すべく、新たに2023年12月にアローヘッド店(アリゾナ州)をオープンいたしました。その他、引き続き「Mega Crane Zone」への改装をはじめとしたアミューズメント機器の積極的な導入を行っております。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比1.5%増、アミューズメントは前年同14.2%増、カラオケは前年同16.1%増、スポッチャは前年同13.7%増となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、中国にアミューズメント施設の出店準備を進めるとともに、ラウンドワンデリシャスの事業展開準備を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,396百万円増加の177,019百万円となりました。この要因は、現金及び預金が1,407百万円増加、貯蔵品が924百万円増加、売掛金が815百万円増加したこと等による流動資産の増加3,309百万円と、その他有形固定資産が3,242百万円増加、使用権資産(純額)が2,919百万円増加、繰延税金資産が1,852百万円減少したこと等による固定資産の増加3,087百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,346百万円増加の113,788百万円となりました。この要因は、リース債務が1,420百万円増加、未払法人税等が1,377百万円増加したこと等による流動負債の増加3,324百万円と、リース債務が1,172百万円増加したこと等による固定負債の増加1,021百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,050百万円増加の63,231百万円となりました。この要因は、自己株式が6,500百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益9,541百万円の計上等により利益剰余金が7,049百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.5%(前連結会計年度末は35.7%)となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2023年11月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,106	30,513
売掛金	1,679	2,494
商品	429	449
貯蔵品	3,374	4,299
その他	4,149	4,291
流動資産合計	38,739	42,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,648	98,055
減価償却累計額	△52,459	△55,892
建物及び構築物(純額)	42,188	42,162
土地	5,712	5,712
リース資産	32,255	34,707
減価償却累計額	△14,610	△18,013
リース資産(純額)	17,644	16,694
使用权資産	31,635	34,801
減価償却累計額	△706	△952
使用权資産(純額)	30,929	33,848
その他	56,042	63,901
減価償却累計額	△35,978	△40,595
その他(純額)	20,063	23,306
有形固定資産合計	116,539	121,724
無形固定資産	763	752
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,216	2,364
差入保証金	8,693	8,555
その他	1,672	1,575
投資その他の資産合計	14,581	12,495
固定資産合計	131,883	134,971
資産合計	170,623	177,019

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	394	382
短期借入金	800	700
1年内償還予定の社債	342	342
1年内返済予定の長期借入金	6,102	6,194
リース債務	14,599	16,020
未払法人税等	612	1,989
契約負債	2,488	2,634
リデンプションポイント引当金	1,849	2,180
その他	10,638	10,707
流動負債合計	37,828	41,152
固定負債		
社債	628	285
長期借入金	15,696	16,315
リース債務	44,789	45,961
資産除去債務	6,794	6,725
その他	3,705	3,347
固定負債合計	71,614	72,635
負債合計	109,442	113,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,326	25,350
資本剰余金	26,002	26,026
利益剰余金	7,506	14,555
自己株式	△3,503	△10,004
株主資本合計	55,331	55,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	9
繰延ヘッジ損益	△0	△1
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	5,742	7,117
その他の包括利益累計額合計	5,610	6,987
新株予約権	237	315
非支配株主持分	0	0
純資産合計	61,180	63,231
負債純資産合計	170,623	177,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	101,384	113,393
売上原価	89,238	96,093
売上総利益	12,146	17,299
販売費及び一般管理費	3,247	3,945
営業利益	8,899	13,354
営業外収益		
受取利息及び配当金	23	38
補助金収入	213	-
為替差益	124	132
持分法による投資利益	109	118
その他	186	211
営業外収益合計	657	501
営業外費用		
支払利息	632	484
その他	108	138
営業外費用合計	740	623
経常利益	8,816	13,232
特別利益		
関係会社株式売却益	-	159
新株予約権戻入益	84	-
受取補償金	-	721
特別利益合計	84	881
特別損失		
固定資産除却損	264	310
減損損失	159	63
特別損失合計	424	373
税金等調整前四半期純利益	8,477	13,739
法人税、住民税及び事業税	618	2,249
法人税等調整額	1,746	1,949
法人税等合計	2,365	4,198
四半期純利益	6,112	9,541
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,112	9,541

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	6,112	9,541
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,803	1,430
持分法適用会社に対する持分相当額	35	△54
その他の包括利益合計	1,838	1,376
四半期包括利益	7,951	10,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,951	10,918
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間において自己株式11,190,300株の取得を行いました。その結果、当第3四半期連結会計期間において自己株式が6,500百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が10,004百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,789	37,017	100,807	577	101,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	63,789	37,017	100,807	577	101,384
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	4,143	5,691	9,835	△1,018	8,816

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国 (Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社) を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,164	42,012	112,176	1,217	113,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	70,164	42,012	112,176	1,217	113,393
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	9,308	4,499	13,807	△574	13,232

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国 (Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社) を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。